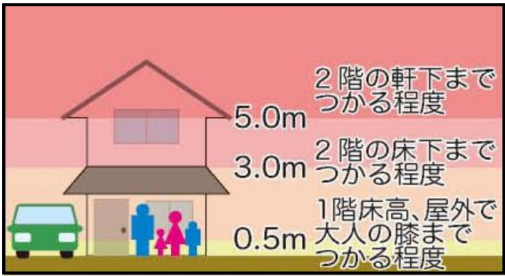


よくあるご質問について、全般的なもの、技術的なものに分けて掲載いたします。
お問合せの多いものを随時、追加していきますのでご確認ください。

	Q.質問	A.回答
全般-Q1	雨水出水浸水想定区域図（内水浸水想定区域図）とはなんですか？	下水道の排水能力を超える大雨によって内水はん濫が発生した場合に、想定される浸水区域や浸水深等を浸水シミュレーションにより図示したものです。そのうち、想定最大規模降雨により浸水が想定される区域を示した図面を雨水出水浸水想定区域図といいます。
全般-Q2	この図面をもとに何をしたらいいですか？	ご自宅や職場などの浸水リスクを把握し、大雨が降った時の被害軽減に役立ててください。
全般-Q3	私の家は浸水しますか？	公表している図面で確認して下さい。 また、国土交通省が製作している重ねるハザードマップに掲載する予定です。
全般-Q4	着色がない区域は浸水しませんか？	想定される浸水区域や浸水深は、雨の降り方により変化するため、着色がない区域でも浸水することがあります。
全般-Q5	内水はん濫とはなんですか？	水路の排水能力を超える雨が降ると、雨水が管路や道路側溝などで排水しきれずに溢れたり、地上にたまったままになります。たまった雨水により道路冠水や家屋等の浸水被害が発生します。
全般-Q6	なぜ雨水出水浸水想定区域図を作成したのですか？	近年、下水道等の雨水排水施設の能力を上回るような大雨が全国的に増加しており、我孫子市においても、床上浸水や道路冠水といった被害が発生しております。このような状況を踏まえ、令和3年の水防法改正により、想定最大規模降雨により想定される浸水区域や浸水深を公表することで、皆様のお住まい、職場、学校の周りで想定される浸水リスクをご確認いただき、活用するために作成・公表しています。
全般-Q7	想定最大規模降雨とはなんですか？	想定し得る最大規模の降雨であり、国土交通省が作成した手法により設定したものです。我孫子市では1時間最大雨量153mm、24時間総雨量390.5mmとしています。 設定方法については、技術-Q4をご覧ください。
全般-Q8	我孫子市で過去に観測された最大の降雨はどのくらいですか？	平成20年8月30日の集中豪雨による1時間最大雨量104.5mmがこれまでで最大の降雨です。（令和7年9月1日時点）
全般-Q9	過去の浸水実績を知りたいのですが？	あびこハザードマップ（令和7年2月作成）にて公表していますのでご確認ください。 https://www.city.abiko.chiba.jp/anshin/bousai/bousai_info/abikohazard_map.html
全般-Q10	浸水深の目安はありますか？	浸水深の目安は、一般的に0.45m未満で床下浸水、0.45m以上で床上浸水と言われています。 また、3.0m以上で家屋の1階が水没し、5.0m以上で家屋の2階が水没と言われています。 
全般-Q11	ハザードマップとの違いはなんですか？	ハザードマップは、円滑な避難行動や平常時からの防災意識の向上を図るために、浸水想定区域図をもとに水害時の避難場所、避難方法などの情報を追加し、作成するものです。 内水ハザードマップは、雨水出水浸水想定区域図をもとに次回更新時に作成する予定です。
全般-Q12	浸水が想定される区域の土地売買・土地利用は制限されますか？	雨水出水浸水想定区域の指定により、土地売買・土地利用が制限されることはありません。
全般-Q13	もっと見やすい配色に出来ませんか？	住民のみならず旅行者や通勤・通学者がどこにいても水害リスクを認識し、避難行動を検討できるようにするため、国の規定により、自治体間で統一する必要があり、また、色覚障がいがある人への配慮によりこの配色にしています。
全般-Q14	なぜ表示が四角（格子状）になっているのですか？	国のガイドラインに合わせて、5m×5mの格子状で表示しています。

全般-Q15	指定区域を市内全域としていないのはなぜですか？	雨水出水浸水想定区域の指定については、水防法第14条の2第2項において、排水施設により雨水を排除できなくなった場合又はその他公共の水域に雨水を排水できない場合に浸水が想定される区域を指定するものとされています。排水施設は、公共下水道等の排水施設と位置付けられており、これは公共下水道の雨水管路のことであることから、公共下水道事業計画区域（雨水）を指定対象区域としております。
全般-Q16	下水道全体計画区域とはなんですか？	下水道全体計画区域とは、市総合計画に定められた目標などに基づき、将来的に取り組むべき下水道計画の区域です。
全般-Q17	下水道事業計画区域とはなんですか？	下水道事業計画区域とは、全体計画のうち、整備済み区域と5～7年程度で整備すべき計画区域です。
全般-Q18	この浸水を解消するための整備を市は実施しますか？	雨水出水浸水想定区域図は、浸水リスクを把握することで、被害軽減に役立てていただくことを目的に作成しました。市では1時間雨量50mmに対応する雨水管路等の整備を進めていますが、想定最大規模降雨による浸水を解消するための整備は予定していません。

技術-Q1	雨水出水浸水想定区域図はなにをもとに作成しましたか？	国土交通省発行の内水浸水想定区域図作成マニュアル(案)(令和3年7月)に基づいて作成しました。
技術-Q2	浸水シミュレーションとはなんですか？	地盤高等の地形情報、主要な下水道(雨水)や水路等の排水施設、放流先である河川の状況等をコンピュータ上で再現し、任意の雨を降らせた場合、どのように浸水するかを総合的に解析するものです。
技術-Q3	浸水シミュレーションの条件設定はどうしていますか？	今回の浸水シミュレーションの主な条件設定は下記のとおりです。 対象とした降雨は、想定し得る最大規模の降雨(1時間最大雨量153mm、24時間総雨量390.5mm)です。 放流先である利根川の水位は、降雨波形に合わせて、ピーク時を計画堤防高まで引き伸ばして決定しています。 河川へ放流する樋管がある場合、原則としてゲートの設定は操作規則により開閉状況を設定しています。
技術-Q4	想定し得る最大規模の降雨はどのように設定しているのですか？	過去の実績降雨の波形をベースに、1時間の最大雨量の各10分ごと雨量を時間最大153mmになるよう引き伸ばして設定しています。対象とする実績降雨は、シミュレーションで浸水被害が最も大きくなった平成25年10月15日～16日降雨の波形を用いています。
技術-Q5	河川のはん濫は考慮されていますか？	洪水(河川の破堤または越水)によるはん濫等は考慮していません。
技術-Q6	地盤高はどのように決めていますか？	地盤の高さは、国土地理院基盤地図情報(測量年次H19、H21、H25、H28)の数値標高モデルを使用しています。そのため、現況と異なる場合があります。
技術-Q7	排水施設情報はいつ時点のものですか？	令和5年度末時点の情報です。
技術-Q8	雨水出水浸水想定区域図は、宅地建物取引における重要事項説明に該当しますか？	重要事項説明に該当するものは、水防法15条第3項の規定に基づいて提供する水害ハザードマップではありますが、同様に浸水箇所を示すものであるため、説明をお願いします。